

助成金を活用した「在籍型出向」

による雇用維持、スキルアップを検討してみませんか



在籍型出向ってどういう働き方？

出向元企業と出向先企業との間の出向契約により、**労働者が出向元企業と出向先企業の両方と雇用契約を結んで、一定期間継続して勤務すること**をいうんだよ



最近、**在籍型出向をして別の会社で働く**事例を耳にするけど、どうしてそんなことをするのかしら？

コロナの影響で一時的に仕事なくなった企業から、慢性的に人手不足な企業や、コロナで需要が伸びている企業に出向している話はよく聞くね。



企業が「在籍型出向」っていう形をわざわざとるのはどうしてなの？

コロナの影響がおさまったら、会社に必要な人材だから、**いずれ自社に戻ってくることを前提に、今は他の企業で働いてもらいたい**、という考えがあるからだよ。



労働者にとっては、どんなメリットがあるのかしら？

別の会社で働くことで、貴重な経験ができて、**能力向上につながる**と思う。**出向先で能力を発揮することで、出向先企業の職場に刺激を与える**ことにもなるね。



コロナの影響も長引いているし、助成金を受けられるケースもあるようだし一度相談したいわ！

産業雇用安定センターでは送出企業と受入企業の双方のマッチングを無料で行ってくれるよ。ぜひ相談してみて。
(※助成金については裏面をご覧ください)



お問い合わせ先

(公財) 産業雇用安定センター三重事務所 TEL 059-225-5449
三重労働局職業安定部職業安定課 TEL 059-226-2305

